

ラ フォレ セ ラ ヴィ ー森こそ命ー



La Forêt, C'est la Vie !



フルー村の女性たち。
現場出張の際に行なっている話し合いのために、集まってくれています。

ごあいさつ

私は、フルー村の女性組合の責任者を務めている、ゾンゴ・ジュリアンと申します。緑のサヘルとのプロジェクトに参加してから、私たちの家庭や村は大きく変わりました。それは、私たちにとって新しい生活の始まりとなりました。

私たちが行っている家畜飼育・販売活動では、羊の販売によって家計収入が増加しました。そのおかげで、私たちは家族の診察代や子供たちの教育費を支払うことができるようになりました。

また、男性たちもプロジェクトに参加したことで、メリットを得ています。特に、家畜の乾燥糞を用いた堆肥を作製し、栽培地に用意したザイ穴へ投入することで、ミレット（トウジンビエ）などの収穫量が増えました。

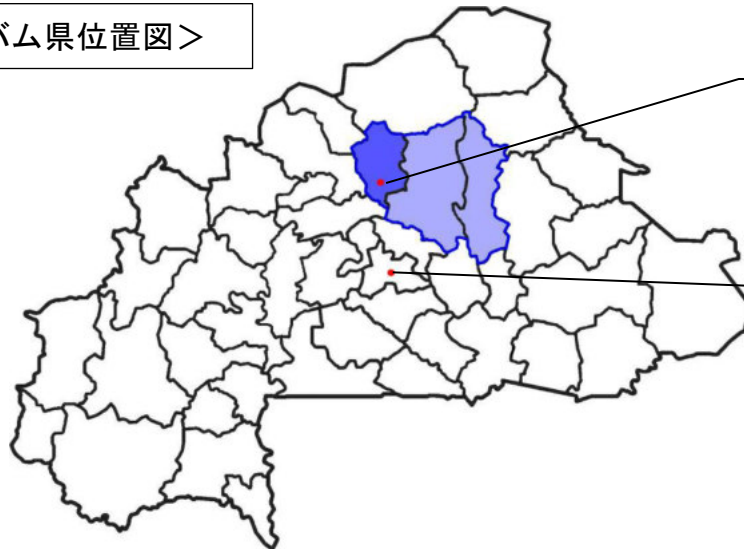
私たちは、フルー村でプロジェクトが続いてくれることを願っており、これからも真剣に参加していくつもりです。緑のサヘルに感謝していますし、日本とブルキナファソが良好な関係であることをうれしく思っています。

フルー村 女性組合 組合長
ゾンゴ・ジュリアン

ブルキナファソの活動地域図



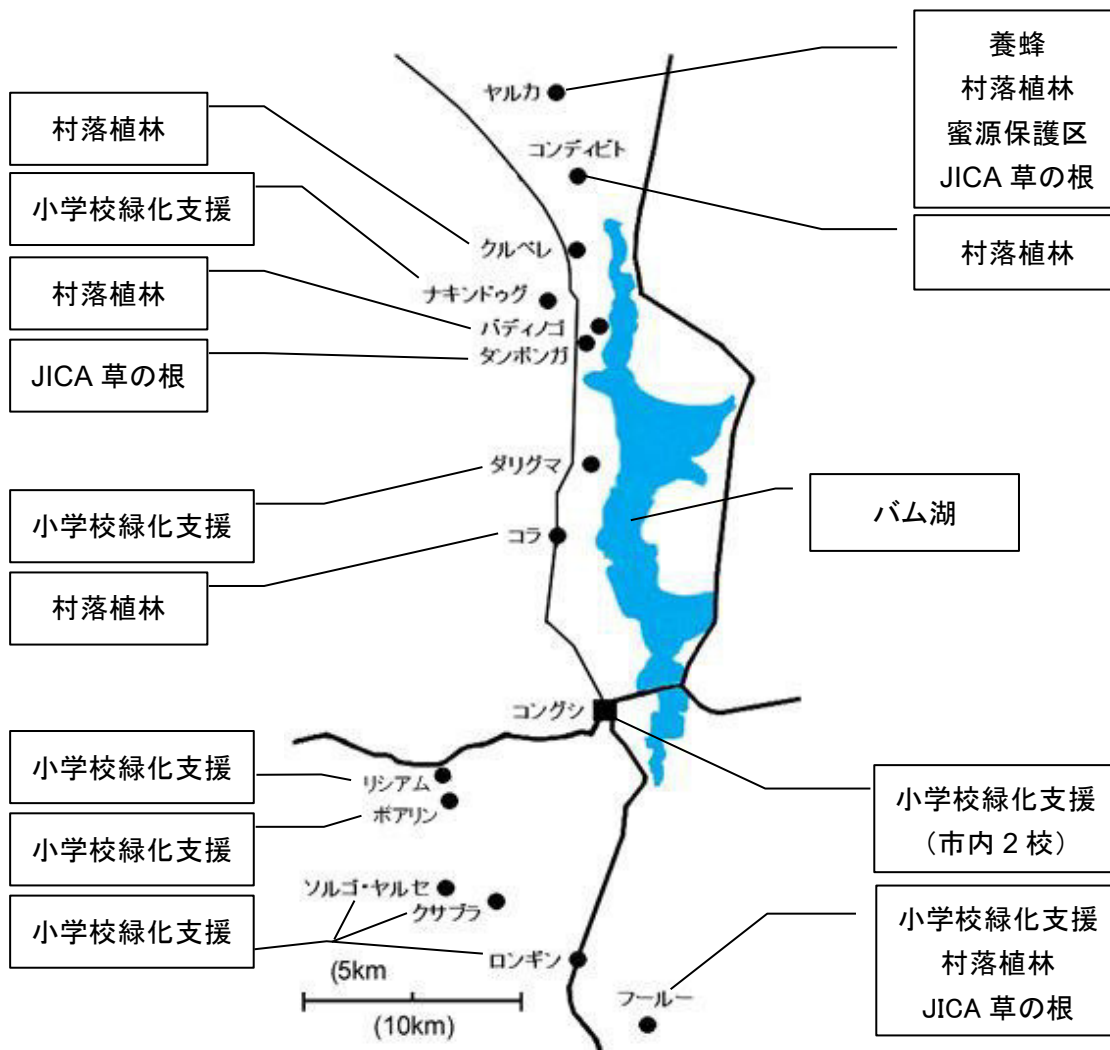
<バム県位置図>



バム県
コングシ市

ワガドゥグ

<バム県コングシ地域活動実施村位置図>



ブルキナファソから 1



現在、現地は乾季の真っ最中です。しかし、例年よりも降雨が早く、5月に2度もまとまった降雨がありました。湿度が高く、50%以上あります。この時期には、蒸し暑い日が続いています。一方で、5月26日から断食（ラマダン）が始まりました。

JICA 草の根技術協力事業

<ザイ・堆肥>

雨季を間近に控え、活動を行なっている3村では、栽培地への堆肥投入用穴（ザイ穴）の用意と堆肥入れが進められています。

ザイ穴を掘る作業は、かなりの労力と時間を必要とします。ただ、毎年新しく掘るのではなく、一度掘った穴を再利用します。このため、栽培地の全面にザイ穴を掘ることができれば、翌年からは準備作業が多少楽になります。

各村の第1チームのメンバー計45名は、昨年、ザイ穴を栽培地の全面に掘り終えています。しかし、第2チームのメンバーには、未実施の面積が残っています。



栽培地にザイ穴を掘っている住民。ツルハシをふるう女性たちの姿が力強いです。

昨年の雨季は、2015年と比べて降水量が約90mm少なかったのですが、3村の収穫量に大幅な落ち込みは見られませんでした。ザイ農法の効果が出たのではないかと思います。とはいえ、日中気温が40度を超える中、ザイ穴を掘る作業は大変です。住民の取り組みには、頭の下がる思いがします。

<搾油>

搾油活動は、これまでタンポンガ村とヤルカ村の女性組合が取り組んできました。フルー村の女性たちからも要請を受けていたのですが、プロジェクト開始と同時に付き合いの始まった村であるため、まずは関係を築くことを優先し、導入を見合わせてきました。

女性たちは家畜飼育・販売活動に取り組み、着実に成果を積み上げてきました。また村訪問時の話し合いにも大勢が参加し、活発に意見を述べるなど、回数を重ねるごとに関わり方が強くなりました。

これらの積み重ねを踏まえ、フルー村への搾油活動の導入を決定しました。他の2村と同様に、作業用建物の建設とコンプレッサー付き搾油機の設置、技術講習会を行ないます。フルー村が属するサブセ郡では、搾油機が設置される村は初めてとなります。



建設中の搾油作業用の建物。雨季の始まる前に完成する予定です。（フルー村）

フルー村は舗装された国道に近く、コングシ市へもサブセ町へもアクセスが容易です。羊や蜂蜜、手工芸品の販売で多くの人が行き来しているため、販売先も広がりそうです。

ブルキナファソから 2



村落植林プロジェクト



フールー村に植栽されたユーカリ。オクラ畑に植えられていますが、順調に成長しています。

湖岸植林プロジェクトとして、コンディビト村、クルペレ村、バディノゴ村、コラ村の4村で生活林の造成を行なってきましたが、2015年にヤルカ村が加わり、5村になりました。また、2016年にはフールー村が参加し、現在は6村で行なっています。

フールー村はバム湖に面しておらず、飲料用以外の用水は、村内にある貯水池を利用しています。そのため、水量に注意しなくてはならず、植林活動には最適とは言えません。しかし、村の女性たちが行なう地酒造りや、男性たちによる薪材販売など、他村と比べて木材利用量が多いという特徴があります。村の周囲には地域植生が充分に残っていますが、早期の保全を図るために、生活林の造成が必要であると判断しました。

住民に提案したところ理解が得られ、現在5人の住民が参加しています。フールー村の参加を機に、プロジェクト名を「村落植林」としました。

チャドから



6月以降の食糧事情が不安です

2016年の穀物栽培による収穫量は、全体では前年比17%増となり、良好でした。とりわけミレットは、直近5年の平均収穫量と比べて20%増であり、久しぶりに実感の持てる増収だったのではないかと思います。

食糧事情については、チャド湖周辺の県では厳しいものの、5月頃までは他の地域では比較的良好な状態が続く見込みです。ただ、6月以降になると、注意を要する地域は17県に及び、東部のワディ・フィラ州やワッダイ州でも厳しくなる見込みです。

食糧事情の悪化が見込まれる時期は、今年のラマダン期間が含まれると共に、穀物栽培の作業が開始される時期と重なります。状況が深刻化しなければと思います。



アベシエでの食事風景。結婚式での料理なので、品数が豊富です。(2015年)

国内活動



今期は、中央アフリカ共和国で活動をしている NGO、「アフリカ友の会」が主催する「アフリカセミナー」でお話しさせていただいたほか、中学生や大学生を対象とした講演・講義にて講師を務めました。また 4 月には、岩手県から中学生の皆さんが事務局を訪れてくれました。

< 東京事務局での主な活動一覧 >

2 月	11 日(土)	(特活) アフリカ友の会 第 37 回 アフリカセミナー 「砂漠化の中の生活」(一般・関係者 35 名)	講師	(菅川)
3 月	14 日(火)	(公財) 毎日新聞東京社会事業団 表敬訪問	訪問	(岡本・菅川)
	17 日(金)	「世界食料デー月間」ミーティング	出席	(岡本)
	28 日(月)	緑のサヘル 設立記念日	—	—
4 月	6 日(木)	盛岡市立 飯岡中学校 修学旅行講演 (3 年生 71 名)	講師	(菅川)
	13 日(木)	花巻市立 東和中学校 事務所訪問 (3 年生 5 名)	担当	(菅川)
	23 日(日)	2017 年度 理事会・正会員総会	開催	(事務局)
	27 日(木)	明治学院大学「世界の環境を考える」講義 (3・4 年生 約 200 名)	講師	(菅川)

東和中学校 事務所訪問

4 月 13 日、修学旅行で東京を訪れた「花巻市立東和中学校」の 3 年生から、5 名の皆さんが事務局を訪れ、現地の状況や「緑のサヘル」の活動について学習しました。

これは修学旅行に際して実施される「社会学習」の一環ですが、訪問時には挨拶に続いて地元や母校について丁寧な紹介があり、またレクチャーの終了後にも、「中学生である自分たちにできること」など、多くの質問がなされる等、積極的な取り組み姿勢が印象的でした。



説明を熱心に聞き取る生徒たち。

明治学院大学での講義



3 年連続でお話しさせていただきました。

4 月 27 日、明治学院大学において、事務局長の菅川が「アフリカ・サヘル地域 砂漠化の現状とその対処」と題した講義を行ないました。これは、法学部の 3・4 年生を対象とした選択科目「世界の環境を考える」の 1 コマで、菅川の講義は 2015 年以来、3 年連続となります。

講義では、約 200 名の学生たちに対し、現地の写真を紹介しながら、「西アフリカの生活」、「砂漠化の現状」、「砂漠化の原因」、「砂漠化への対処」等について説明を行ないました。



緑のサヘルの民芸品

「緑のサヘル」では、ブルキナファソを中心とした西アフリカの民芸品を販売しており、売り上げは団体の活動や運営を支える貴重な収入となっています。

現在はイベントでの販売がほとんどですが、利益の拡大を目指し、販売にご協力いただける方、商品として扱って下さるお店を募集しています。ぜひ事務局までご一報下さい！

【お問い合わせ】

緑のサヘル東京事務局 Tel : 03-3252-1040 / E-mail : agsj_tokyo@sahelgreen.org

民芸品の一例



おばちゃん人形

現地の女性を模した、とっても可愛い人形です。



ビニールかご

ビニールで編んだカゴで、デザインも色もGOOD！



ひょうたん細工

ひょうたんを加工して作った楽器や食器があります。

* 民芸品の在庫は固定ではなく、時期によって種類や数量が変わります。

自然の恵み ハケ岳製品を！

大自然の中、丹精込めて作られたチーズやカレーはいかがですか？

長野県のハケ岳山麓に、「ハケ岳中央農業実践大学校」があります。ここでは、営農を志す青年たちが、豊かな緑の中で作物や野菜、乳製品や加工食品作りに、日々汗を流しています。

「緑のサヘル」代表の岡本と事務局長の菅川は、この学校のOBで、ここで2人は出会いました。その縁もあり、「緑のサヘル」を通じて製品をご注文頂くと、大学校のご厚意によって、売り上げの20%が当団体に寄付されます。



メニューがリニューアルされました。詳しくは最終ページをご覧ください！

ありがとうございました

* 敬称は略させて頂きました。

【 継続会員のみなさま 】

大久保久美子／石山俊／瀬戸進一／坂井真紀子／河村ミヨ子／北川華子／大池良平
古川フミ子／新海真理子／和田隆資／碓井道子／那口真理子／高橋聖子／手嶋康
林裕之／青山初穂／菊地滋夫／立屋敷哲／岩永孝子／玉岡昇治
大阪信愛女学院小学校／株式会社ホーム創建
他 匿名をご希望の方 3名

【 ご寄付を頂きました 】

都立戸山高校水泳部 OB 会／小島訓子／松岡亜湖／三浦敦／賀川麻衣／村上和代
豊島正幸・まり子／佐藤裕美／榎本みつ枝／佐羽内淳子／畑野めぐみ／佐藤京子
小池昌子／碓井道子／加藤文子／高松千枝子／森田康子／手嶋康／蛸子佳子
山中正和／太田宜子／瀬戸義子／高橋菜々子／佐々木順平／坂井真紀子
大久保久美子／瀬戸進一／内村佳士／個別教育フォレスト 安多秀司
大阪信愛女学院幼稚園／公益財団法人毎日新聞東京社会事業団
他 匿名をご希望の方 3名

【 BOOK募金を通じてご寄付を頂きました 】

倉沢昌子／村上和代
他 匿名をご希望の方 8名

【 ハガキ・切手・商品券・図書カードなどをいただきました 】

盛岡市立黒石野中学校／大池良平／木嶋清江／岩永孝子
花巻市立東和中学校 3年生
他 匿名をご希望の方 1名

上記は 2017 年 2 月 1 日から 4 月 30 日までにご支援頂いた方、また、それ以前にご支援頂き、お名前を掲載できなかった方のご芳名であり、5 月 1 日以降にご支援下さいました方については、次号の掲載とさせて頂きました。

【 協力団体・助成団体 】

アフリカの砂漠で木を植えている日本青年を支援する会／(独)国際協力機構(JICA)
(公財)毎日新聞東京社会事業団／(公財)イオン環境財団(環境活動助成)
緑の募金(管理団体:(社)国土緑化推進機構)／(公財)国際緑化推進センター
isave(シーブ株)／アフリカ料理 トライプス／gooddo(株)
(財)農村更生協会 ハヶ岳中央農業実践大学校／(特活)国際協力 NGO センター
(特活)環境アリーナ研究機構／国際連合食糧農業機関(FAO)／(株)グリムス
URBAN GREEN MAKERS／(公社)国際農林業協働協会／(株)プレジャーワークス
ソーシャルアクションリング／マチウケル！(株)廻船問屋
かざして募金 ソフトバンク／ジャパングビング／あんのん基金

【 写真を提供しました 】

(株)帝国書院『ライブ！現代社会』
(公財)愛媛県教育会『新しい社会 地理 社会科単元別テスト 中学一年生』

「緑のサヘル」からお知らせ

BOOK 募金で気軽に国際協力!



使わなくなった書籍やDVD、CDなどを、(株)プレジャーワークスにお送りいただくと、その買取金額が「緑のサヘル」に寄付されます。申込みチラシを御希望の方は、東京事務局まで御連絡下さい。



gooddo(グッドゥ)は、応援したい社会貢献団体を、誰でも今すぐ簡単に無料で支援することができます。

gooddo のサイト(<http://gooddo.jp>)にアクセスし、「団体を探す」から「緑のサヘル」を選び、クリックして下さい。応援ポイントが貯まり、ポイント数に応じた支援金が「緑のサヘル」に届けられます。1日1クリック!!

【 もくじ 】

- | | |
|-----------------|----------|
| 1..表紙 | 5..国内活動 |
| 2..ブルキナファソ活動地域図 | 6..事務局より |
| 3..ブルキナファソから 1 | 7..ありがとう |
| 4..ブルキナファソから 2 | 8..お知らせ |
| チャドから | |

< スタッフよりひと言 >

- 今年のブルキナファソでは降雨が早く、しかも長く降ることが多いです。5月18日には、夕方から深夜まで降り続けました。降っている間は涼しいのですが、止むと蒸し暑くなるため、一長一短です。(岡本)
- 以前インターンやボランティアをして下さった方々から、連絡をもらうことが増えています。共に過ごした時間は短かったにも関わらず、いつまでも覚えて下さっていることに感謝、感謝です。(菅川)
- 神田祭も終わり、東京は初夏を迎えます。我が家のパオバたちは段ボール冬眠から覚め、ベランダで新芽を伸ばしています。戦争がパオバの後ろに立っていた、なんてことがないように祈ります。(本所)
- 前回の帰国直前に聞いた現地友人のおめでた、この号が完成する頃に出産予定。次回の出張で元気な親子に会えるのが楽しみ~♪ 最近ハマっているブルキナ国民食のトー、シンプルだけど奥深い... (大谷)

ご贈答品・ご挨拶に
どうぞ

♪ メニューがリニューアルしました ♪

ハケ岳農場の特産品

「ハケ岳中央農業実践大学校」の新鮮な材料と確かな技術から生まれた品々。おなじみのチーズ・アイスクリーム・カレーに、卵・乳製品が加わりました。送料を含めた価格は下記の表のとおりです。

大学校のご厚意により、お求めごとに
定価の20%が当会に寄付されます。

【お申し込み方法】

郵便振替用紙に、ご依頼人様とお届け先のご住所、氏名、電話番号、ご希望セット名と数量をご明記の上、下記までお振込みください。

00120-7-419488「緑のサヘル」

お振り込みからお届けまで10日程かかります。

		関東 信越 北陸 中部 南東北	関西 北東北	中国	四国	北海道 九州	沖縄
A	アイス10個	4,644	4,752	4,860	4,968	5,076	5,616
B	3種アイス 10個	4,968	5,076	5,184	5,292	5,400	5,940
C	アイス6個	3,564	3,672	3,780	3,888	3,996	4,536
D	チーズ3種	4,536	4,644	4,752	4,860	4,968	5,184
E	カレー2箱/ チーズ5種	6,048	6,156	6,264	6,372	6,480	7,020
F	ヨーグルト/ 牛乳	2,916	3,024	3,132	3,240	3,348	3,888
G	カレー6箱	4,320	4,320	4,536	4,644	4,752	5,292
H	青卵12個 / ジャム2種	3,996	4,104	4,212	4,320	4,428	4,968
I	赤卵30個	1,728	1,836	1,944	2,052	2,160	2,700
J	アイス20個	7,668	7,776	7,884	7,986	8,100	8,964

※カレーは、甘口か中辛のどちらかをお選びいただけます。

内容の詳細をご希望の方は、事務局まで
ご連絡ください。詳細チラシをお送りいたします。

La Forêt, C'est la Vie !

Vol.70

編集 岡本敏樹 菅川拓也 本所稚佳江 大谷恵美 /印刷 社会福祉法人東京コロニー

発行所 (特活) 緑のサヘル ホームページ: <http://sahelgreen.org/> E-mail: agsj_tokyo@sahelgreen.org

〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町16番地 NASビル3F TEL:03-3252-1040 / FAX:03-3252-1041